

書名		国 語	38 光 村
項目			
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○本編は7つの単元で構成されており、それぞれ学習にかかわる言葉を掲げ、身につける力が明確化されている。文法、漢字、資料編は後半に配置され、整理して学習できるよう配慮されている。</p> <p>○継続的な学習や主体的な学習の大切さを理解し、話し合い活動を通じてコミュニケーション能力を育成するように、様々な教材の工夫がされている。</p> <p>○伝統的な言語文化を受け継ぐため、優れた作品を積極的に取り上げ、それを享受しながら新たな創作へとつないでいく態度を育成するように配慮されている。</p>		
特 色	内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <p>○各教材の領域ごとに「目標」を明示し、身に付けたい力が示されている。</p> <p>○「学習の窓」では目標、手順、ポイントが示されている。また振り返りや、次へのつなぎ、生活に生かす学習により、あらゆる生活場面に生かせるように設定されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○思考と認識を高めるため、発達段階に沿って、1年は確かさ、2年は豊かさ、3年は深さと目標を立て、それに基づいた教材や活動を配列している。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」「書くこと」で、学習者同士が伝え合う力を身に付けさせるようにしている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○巻頭に「学習の見通しをもとう」や「いつも気をつけよう」を設け、生徒自ら学習の見通しをもち、学習のポイントでヒントを得て、学習後は自己評価できる自主学習に配慮した工夫がされている。</p> <p><言語感覚を養うための工夫></p> <p>○各学年の4カ所に「季節のしおり」を設けて、四季にちなんだ詩歌や季語を紹介し、季節感や言語感覚を磨くように工夫されている。</p> <p>○各学年に「続けてみよう」を設け、年間を通して語彙を増やしたり、言語感覚を日常的に磨けるよう工夫されている。</p> <p><国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫></p> <p>○本を紹介する「広がる読書」では、同一の作者、テーマ、題材などを扱った本を紹介し、違うジャンルでも読書活動を広げていけるよう支援している。</p> <p>○漢字を習得する力を身に付けるために、「読むこと」の教材と関連させながら、新出漢字、音訓を使った練習問題が設けられている。</p>	
	資 料	<p>○「学習の窓」では、目標や振り返りを設定し、身につけたいポイントがわかる配慮がなされている。</p> <p>○学習をしてさらに読むべき作品が示されており、書く力、話す力など社会生活の中で必要なコミュニケーション能力を高める資料が充実している。</p> <p>○「言葉に出会うために」を設定し、小学校から中学校へ円滑な連携が図られている。</p>	
	表記・表現	<p>○学習の冒頭に見通しをもたせ、わかりやすく流れが示されている。</p> <p>○脚注に生徒の理解につながる地図や写真などが、適宜使用されている。</p>	
総 括	<p>○全学年7つの単元と巻末の文法・漢字・資料・付録で構成されている。「読むこと」では、「確認しよう」「読みを深めよう」「自分の考えをもとう」の3段階の課題を示し、「学習を振り返る」で学習の成果を確認させるようになっている。言語活動で身につけた言葉の力を日常生活や社会生活で生かせるように「生活に生かす」「他教科に生かす」が設けられている。従来の定番の作品や話題性のある良質な教材が多く取り入れられている。</p>		

